用語の説明

【数字】

1 型糖尿病

膵臓のインスリンを作る細胞が破壊されてしまい、インスリンがほとんど作られなくなり、体の中のインスリン量が絶対的に足りなくておこる糖尿病。

2 型糖尿病

膵臓がつくるインスリンの量が少なかったり、インスリンの働きが悪かったりすることによっておこる糖尿病。遺伝的な影響に加えて、食べ過ぎ、運動不足、肥満などの環境的な影響があるといわれている。

75 g OGTT

糖尿病の重要な診断方法。糖尿病が疑われる患者に対し、短時間に75gのブドウ糖が溶けた水溶液を飲んでもらい、一定時間経過後の血糖値の値から、糖尿病が存在するかどうかを判断する方法。経口ブドウ糖負荷試験（OGTTは、Oral Glucose Tolerance Test の略）。

【アルファベット】

A D L（日常生活動作）

Activities of Daily Living の略。食事、排泄、着脱衣、入浴、移動、寝起きなど、日常生活を送るために必要な基本動作。

A E D

自動体外式除細動器（Automated External Defibrillator の略）。心筋梗塞などにより生命の危険がある不整脈が起こった場合に、除細動が必要かどうかを自動的に判断し、心臓に電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための機器。医療従事者でなくても使用でき、救命効果が優れている。

A Y A 世代

Adolescent（思春期）及び Young Adult（若年成人）の略。

B C G

仏：Bacille de Calmette et Guérin の略。カルメットとゲランによって開発された結核菌に対するワクチン。

B C P（業務継続計画）

Business Continuity Plan の略。災害発生時における応急業務に加え、通常業務のうち、継続又は早期復旧の必要がある業務を、非常時優先業務として実施する態勢を確保するために、事前に必要な資源（人員、事業所、資機材等）の確保・配分や必要な対策を定めることにより、災害発生後の業務立上げ時間の短縮や発災直後の業務レベルの向上を図る計画。

C B R N 災害

化学（chemical）、生物（biological）、放射性物質（radiological）、核（nuclear）による特殊な災害。

C C U

Coronary Care Unit の略。狭心症や心筋梗塞などの主に冠動脈疾患の重篤な患者を対象とする集中治療施設。

CT

Computed Tomography の略。エックス線コンピューター断層撮影装置。

DCN

Death Certificate Notification の略。

地域がん・全国がん登録において、死亡票で初めてがん登録されたがん患者数の全罹患数に占める割合。

DCNの値が低いほど、登録精度が高いと評価される。

DMA T

災害派遣医療チーム (Disaster Medical Assistance Team の略)。災害の急性期 (概ね48時間以内) に災害現場で救命処置等に活動できる機動性を備えた、専門的な訓練を受けた災害派遣医療チーム。

DOTSカンファレンス

保健所や医療機関等において、結核患者及び潜在性結核感染症者の治療開始から終了に至るまでの支援を図るため、直接服薬確認 (DOTS) の実施状況等を検討する会。

DPAT

災害派遣医療チーム (Disaster Psychiatric Assistance Team の略)。被災地域の都道府県の派遣要請により被災地域に入り、精神科医療及び精神保健活動の支援を行うための専門的な精神医療チーム。

DV

ドメスティックバイオレンス (Domestic Violence の略)。配偶者、家族等から受ける家庭内暴力や元夫婦間などに起こる暴力。

GCU (回復期治療室)

Growing Care Unit の略。NICUの後方病床。NICUの治療により急性期を脱した児や入院時から中等症でNICUでの治療までは必要としないもののこれに準じた医療を行う施設。

HbA1c

Hemoglobin A1c の略。ヘモグロビンのひとつ。平均血糖値を反映するため、糖尿病管理の指標として用いられる。

HIVとエイズ

HIVはヒト免疫不全ウイルス (Human Immunodeficiency Virus) の略で、人の免疫細胞に感染し免疫細胞を破壊するウイルス。エイズは後天性免疫不全症候群 (Acquired immune deficiency syndrome) の略で、HIVにより発症する性感染症。

ICLS

Immediate Cardiac Life Support の略。日本救急医学会認定の医療従事者向けの蘇生のトレーニングプログラム。

ICU

集中治療室 (Intensive Care Unit の略)。重篤な患者の容態を24時間体制で管理し、より効果的な治療を実施する施設。

JMAT

日本医師会災害医療チーム (Japan Medical Association Team の略)。主に災害急性期以降における避難所・救護所等での医療や健康管理、被災地の病院・診療所への支援を行い、地域医療の再生を支援する。

JRAT

大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会 (Japan Rehabilitation Assistance

Team の略)。リハビリテーション、理学療法士、作業療法士、介護支援専門員、義肢装具士等の団体が連携し、災害リハビリテーション支援チームを被災地に派遣し、生活不活発病等への予防に対する支援を行う。

J P T E C

外傷病院前救護ガイドライン (Japan Prehospital Trauma Evaluation and Care の略)。病院前の外傷観察・処置の標準化と、その普及を目的に開発された教育プログラム。

M F I C U (母体・胎児集中治療管理室)

Maternal Fetal Intensive Care Unit の略。24時間体制で合併症妊婦などハイリスク妊娠に対応する医療を行うことができる医療施設。

M R S A (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)

Methicillin-Resistant Staphylococcus Aureus の略。抗生物質「メチシリン」に対する薬剤耐性を獲得した黄色ブドウ球菌のこと。

N I C U (新生児集中治療管理室)

Neonatal Intensive Care Unit の略。24時間体制でハイリスク児の治療と看護が行われる高度医療施設。

P E T

ポジトロン断層法 (Positron Emission Tomography の略)。陽電子検出を利用したコンピューター断層撮影技術。がんの診断に利用される。

P I C U (小児集中治療室)

Pediatric Intensive Care Unit の略。心臓病をはじめとする難病疾患をもつ小児患者や、救急搬送された重篤な小児患者を収容する施設。

S C U (広域(医療)搬送拠点での臨時医療施設)

Staging Care Unit の略。患者の症状の安定化を図り、搬送のためのトリアージを実施するための臨時的医療施設として必要に応じて被災地域及び被災地域外の広域搬送拠点に設置されるもの。被災地域に設置される S C U は、被災地域内から集められた患者の症状の安定化を図り、航空機搬送のためのトリアージを行う。

t - P A

組織プラスミノゲンアクチベーター (tissue Plasminogen Activator の略)。
適応のある脳梗塞症例に対し、発症後 4.5 時間以内に静脈内投与することにより、脳梗塞を改善させる血栓溶解薬で、近年、脳梗塞の標準的な治療法となりつつある。

V R E (バイコマイシン耐性腸球菌)

Vancomycin-Resistant Enterococcus の略。抗生物質「バンコマイシン」に対する薬剤耐性を獲得した腸球菌のこと。院内感染のひとつ。

アナフィラキシーショック

原因となるものを食べる、触る、吸い込む、注入されるなどによって身体の中に入った時、突然全身に起こるアレルギー反応をアナフィラキシーと言い、その中でも血圧が低下して意識が混濁し、脱力するようなショック状態に陥る場合のこと。

アドバンス・ケア・プランニング (ACP)

意思決定能力低下に備えての対応プロセスのこと。(今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合う自発的なプロセスのこと。)

【あ行】

医療安全支援センター

医療に関する患者・家族等の苦情・心配や相談に迅速に対応するとともに、医療機関、患者・住民に対して、医療安全に関する助言および情報提供等を行う機関。県内には県庁に設置。

医療ソーシャルワーカー（MSW）

Medical Social Worker の略。保健医療分野におけるソーシャルワーカーであり、主に病院において患者や家族の抱える心理的・社会的な問題の解決・調整を援助し、社会復帰の促進を図る専門職。

院内がん登録

医療機関において、がんの診断、治療、予後などの情報を集積し、院内におけるがん診療の向上と患者への支援を目指して行われる登録事業。

院内助産所

緊急時の対応ができる医療機関等において、正常経過の妊産婦のケア及び助産を助産師が自立して行うものをいう。

院内保育所

病院設置者が病院内、もしくは病院隣接場所に設置する保育施設。

インフォームドコンセント

正しい情報を伝えられた上での合意を意味する概念。医師から患者に対する医師から提示された治療方法等について、同意するか、それ以外の方法を選択するかを患者が主体的に決めるという考え方。医師は患者に対して、症状や治療内容等を丁寧に説明するだけでなく、患者が主体的に選択できるよう配慮した説明や情報提供を行うことが重要とされる。

う蝕・う歯

むし歯のこと。う蝕は状態を示し、う歯はむし歯になった歯のことを示す。

エイズ治療中核拠点病院・エイズ治療拠点病院・エイズ治療協力病院

エイズ治療拠点病院は、エイズ患者等が安心して医療を受けられる体制を整備し、エイズに関する総合的かつ高度な医療を提供する病院で、本県では県立中央病院と米子医療センター。エイズ治療中核拠点病院は、患者・感染者の多い都市部で拠点病院間の患者の偏在が生じ、地域間での医療水準の格差が生じてきたことから、総合的な医療体制を整備するため各都道府県に設置された病院で、本県では鳥取大学医学部附属病院。本県において、拠点病院を中心とした診療受け入れの円滑化を図るために、鳥取赤十字病院、鳥取市立病院、鳥取医療センター、県立厚生病院、山陰労災病院をエイズ治療協力病院に選定している。

栄養士

都道府県知事の免許を受けて、栄養の指導に従事する者。

遠隔医療システム

コンピュータネットワークを用いて、画像データを送受信し、遠隔画像診断等が行えるシステム。

嚥下

食物を飲み下すこと。

【か行】

介護支援専門員（ケアマネジャー）

介護保険において要支援・要介護と認定された人に対して、アセスメントに基づいたケアプランを作成し、ケアマネジメントを行う者。介護全般に関する相談援助・関係機関との連絡調整・介護保険の給付管理等を行う。

外食栄養成分表示

外食等の料理の栄養成分（エネルギー、たんぱく質、脂質等）を表示するもの。

回復期リハビリテーション

脳卒中などの急性期がすぎ比較的安定した時期に入り、家庭復帰及び社会復帰を目的とした日常生活動作（ADL）の向上を集中的に行うリハビリテーション。

かかりつけ医

住民が身近な地域で日常的な医療を受けたり、あるいは健康の相談等ができる医師。かかりつけ医には、患者の病状に応じて適切な医療機関を紹介することをはじめ、常に患者を支える立場に立って重要な役割を担い、また、診療時間外においても患者の病態に応じて患者又はその家族と連絡がとれるようにするなど適切に対応することが期待されている。

かかりつけ薬剤師・薬局

薬による治療のこと、健康や介護に関することなどについて、患者・生活者のニーズに沿った相談に応じることができる薬剤師・薬局。

かかりつけ薬局には、患者が受診している医療機関の把握、医薬品の服用情報等の一元的かつ継続的な把握、残薬管理、副作用等の状況把握、「お薬手帳」の意義・役割の説明と活用促進、開店時間外にかかりつけ薬剤師が患者からの相談等に対応する体制の整備、地域包括ケアにおける多職種との連携などが期待されている。

合併症

ある病気に関連して起こる、他の病気。

肝炎医療コーディネーター

肝炎への理解の浸透、相談に対する助言や窓口の案内、肝炎ウイルス検査の受検勧奨や精密検査の受診勧奨、医療費助成制度の説明などを行う人材として、県が肝疾患診療拠点病院及び肝疾患専門医療機関と連携して養成した者。

看護職員修学資金貸付制度

県内の看護職員を確保するため、将来県内において看護職員としてその業務に従事しようとするものに対し、鳥取県が修学上必要な資金を貸し付ける制度。県内に一定年数以上看護職員として勤務すると、貸付金の返還が免除される。

患者サロン

ここでは、がん患者サロンのこと。患者関係者が運営して、地域がん診療連携拠点病院などの病院や公民館等にごん患者家族の方が悩みを気軽に話し合える場を開設している。

がん診療連携拠点病院に準じる病院

がん診療連携拠点病院以外でがん治療を行う県内の主な病院について、県が「がん診療連携拠点病院に準じる病院」として指定した病院。

感染症病床・結核病床

感染症病床とは、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に規定する一類感染症、二類感染症（結核を除く。）、新型インフルエンザ等の感染症の患者を入院させるための病床。

結核病床とは、二類感染症である結核の患者を入院させるための病床。

緩和ケア

患者・家族の療養生活の質の向上のため、がん患者の身体的苦痛（疼痛^{とう}）及び精神的苦痛（恐怖、不安）、社会的な不安（仕事や経済面での不安）を和らげる医療。

緩和ケアチーム

患者に緩和医療を提供するため、医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー（MSW）、

心理療法士等から構成されるチームのこと。がん診療連携拠点病院には設置が義務付けられている。

基幹災害拠点病院

地域災害拠点病院の機能を強化し、要員の訓練・研修機能がある病院。

危険ドラッグ

従来、脱法ドラッグ、合法ドラッグなどと称して販売されてきた、麻薬や大麻、覚醒剤などと類似した物質を含む乱用薬物について、規制の有無を問わず、使用することが危ない物質であると明確に示すため、平成26年7月から「危険ドラッグ」という呼称が用いられている。

がんセンター

近年は、患者一人一人の状態に合わせて、さまざまな専門の医療関連職種が連携し合って治療や支援を進めていく“チーム医療”が広まっている。がん患者の診断や治療方針について、それぞれ専門の知見に基づいて検討する場をがんセンターという。

救急医療機関

救急病院等を定める省令に基づき、県知事が認定した医療機関。

救急救命士

厚生労働大臣の免許を受けて、医師の指示の下に、救急救命処置を行うことを業とする者。

救急救命士病院実習受入促進事業

救急救命士の資格を有する救急隊員の気管挿管の実習を行う病院に対し、実習の調整にかかる医師の人件費を補助する国の補助事業。

救命救急センター

相当数の専用病床を有し、24時間体制で、重症及び複数の診療科にわたるすべての重篤な救急患者に対する高度な診療機能を有するもの。

ケアハウス

身体機能の低下等により自立した日常生活を営むことについて不安があると認められる者であって、家族による援助を受けることが困難なものを低額な料金で利用させる施設。

ケアプラン

介護保険制度で要支援・要介護認定を受けた場合、本人の希望や必要性に応じて利用限度額・回数のなかでどのようなサービスを組み合わせて受けるかの計画。

ケアマネジャー（介護支援専門員）

介護保険において要支援・要介護と認定された人に対して、アセスメントに基づいたケアプランを作成し、ケアマネジメントを行う者。介護全般に関する相談援助・関係機関との連絡調整・介護保険の給付管理等を行う。

ゲートキーパー

地域や医療・保健・福祉、労働、教育等、様々な分野における相談支援活動において、自殺のサインに気づき、見守り、必要に応じて関係する専門相談機関へつなぐなどの役割が期待される人材のこと。

血液製剤

人の血液を原料として製造される医薬品。輸血用血液製剤と血漿分画製剤（血液から分離した血漿から治療に必要な血漿たん白を分画したもの）に分類される。

健康サポート薬局

かかりつけ薬剤師・薬局の基本的な機能に加え、地域住民による主体的な健康の維持・増進を積極的に支援する（健康サポート）機能を備えた薬局のこと。

「健康サポート薬局」と表示するためには、医薬品医療機器等法に基づき厚生労働大臣が定める基準に適合した上で、あらかじめ薬局許可に係る行政窓口へ届出を行う必要がある。

健康マイレージ

健康づくりに資する取組に対してポイントを付与し、ポイントに応じて景品等の特典を贈呈する取組。

血糖コントロール

血糖変動を健康な人と同じ血糖変動に近づけること。

ゲノム医療

個人の「ゲノム情報」をはじめとした各種検査情報をもとにして、その人の体質や病状に適した医療を行うこと。

なお、「ゲノム」とは遺伝子「gene」と、すべてを意味する「-ome」を合わせた造語で、DNAに含まれる遺伝情報全体を指している。

圏域地域リハビリテーション支援センター

医療と福祉をつなぐネットワークづくりを図る拠点として、リハビリテーション関係機関との連絡・調整の役割を果たす機関。

言語聴覚士（ST）

Speech Therapist の略。医師の指示の下に言語、聴覚、発声、発音及び認知等のコミュニケーション及び摂食、嚥下に障害のある人に対して、機能の維持と向上のための訓練、検査や助言、指導などの援助を行うことを業とする者（国家資格）。

原子力災害医療協力機関

原子力災害時において行われる診療や県等が行う原子力災害対策等を支援する機関。傷病者に対する初期診療や救急診療を行うことができる等、一定の要件を満たす機関を県が登録する。

原子力災害拠点病院

原子力災害時に汚染の有無にかかわらず傷病者等を受け入れ、被ばくがある場合には適切な診療等を行う医療機関。「原子力災害医療派遣チーム」を保有する等、一定の要件を満たす医療機関を県が指定する。

広域災害・救急医療情報システム（EMIS）

平常時は救急医療施設からの情報収集等を行い、災害時は、総合的な情報収集・医療の提供を行うための情報システムで、ほぼ全国的に導入されている。災害拠点病院のほか県内全病院は災害時のライフラインの状況、傷病者の受入状況等の入力が可能でありその情報を各病院、消防局、県が閲覧することが可能。

口腔ケア

狭義には、口腔衛生の改善のためのケア（口腔清掃）を指すが、最近では、広義として摂食・咀嚼・嚥下訓練まで含まれている。現在多くが使用している定義では、「口腔清掃、歯石の除去、義歯の調整・修理・手入れ、簡単な治療などにより口腔の疾病予防・機能回復、健康の保持増進、さらにQOL（生活の質。Quality of Life の略。）の向上を目指した技術」を「口腔ケア」という。

合計特殊出生率

15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女子が一生の間に生む子どもの数の概念上の値。

高次脳機能障がい

交通事故や病気等により脳に損傷を受け、その後遺症として記憶、注意、遂行機能、社会的行動といった認知機能（高次脳機能）が低下した状態。

向精神薬

中枢神経系（脳）に作用し、精神に影響を及ぼす薬の総称。日本では、麻薬及び向精神薬取締法で個別に指定され、薬物乱用の危険性と治療上の有用性により、第1種、第2種、第3種の3種類に分類され、規制されている。

コメディカル

医療従事者のうち医師や歯科医師以外の者。

【さ行】

災害医療コーディネーター

県に対する災害医療体制の確保に関する助言、医療ニーズの把握・分析、県内外の医療救護班の受入、関係機関との調整等を行う。全県を所管する「鳥取県災害医療コーディネーター」と、二次医療圏を所管する「鳥取県地域災害医療コーディネーター」の2種類あり、知事が委嘱する。

災害時小児周産期リエゾン

災害時に被災都道府県の災害対策本部の下に設置される派遣調整本部等において、災害医療コーディネーターのサポートとして、小児・周産期におけるネットワークを経由した患者搬送や物資の支援を円滑に行う役割を担う者。

※「リエゾン」とは、「仲介、つなぎ、橋渡し」等の意のフランス語。

さい帯血

胎児と母体を繋ぐ胎児側の組織であるへその緒（さい帯）の中に含まれる血液。造血幹細胞が多量に含まれていることが知られている。白血病や再生不良性貧血などの難治性血液疾患の根本的治療のひとつである造血幹細胞移植において、幹細胞の供給源として骨髄および幹細胞動員末梢血とともに利用される。

在宅看取り率

患者が在宅で死亡した割合。

在宅療養支援歯科診療所

在宅又は社会福祉施設等における療養を歯科医療面から支援する歯科診療所。

在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

往診や訪問看護が24時間可能な体制を確保している病院又は診療所のこと。主に在宅での慢性疾患の療養等を行う。在宅療養患者の緊急入院を受け入れる体制も確保している。

作業療法士（OT）

Occupational Therapist の略。医師の指示の下に身体や精神に障害のある人に、工作や手芸などの作業を行わせ、心身の諸機能の回復を行うことを業とする者（国家資格）。

歯科衛生士

歯科医師の直接の指導の下で歯科診療補助、歯科疾患予防処置、歯科保健指導等歯科衛生に関する業務を行う者（国家資格）。

歯科技工士

歯科医師の指示により、歯科医療に使用する補てつ物、充てん物、矯正装置を作成・修理・加工を行う者（国家資格）。

支持療法

がんそのものに伴う症状や治療による副作用に対するの予防策、症状を軽減させるための治療。

集学的治療

がんや腫瘍の治療に際し、手術・化学療法・放射線照射などを組み合わせて行うこと。

受療率

調査日（1日）に医療機関で受療した患者数を人口で除した10万人当たりの率。

情報ハイウェイ

ここでは鳥取県が、県内一円に光ファイバー網を整備した「鳥取情報ハイウェイ」のこと。

除細動

心臓に強い電流を瞬間的に流して、心房細動や心室細動を抑え、心拍を規則正しいリズムに戻すこと。

新医師臨床研修制度

研修に専念できる環境の下で幅広い臨床研修をすることによって、基本的な診療能力（態度・技能・知識）を身につけることを目的に、平成16年度から開始された制度。診療に従事しようとする医師には、この研修が義務づけられる。

新型インフルエンザ等

新たに人から人に感染する能力を有することとなったウイルスを病原体とするインフルエンザ、新たに発生した重篤な症状となる感染症及び再興インフルエンザで、国民の多くが免疫を獲得していないため全国的に急速なまん延をもたらして、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある感染症をいう。多くの人々が免疫を獲得していないため、世界的な大流行（パンデミック）となり、大きな健康被害と社会的影響をもたらすため、国家の危機管理として対応する必要がある。

新型インフルエンザ等対策帰国者・接触者外来協力医療機関・入院協力医療機関

新型インフルエンザ等対策帰国者・接触者外来協力医療機関とは、新型インフルエンザ等の発生国からの帰国者や患者の接触者であって、発熱・呼吸器症状等を有する者に係る診療を行う医療機関。

入院協力医療機関とは、新型インフルエンザ等の患者を入院させる医療機関。

新興感染症・再興感染症

新興感染症とは、近年になってはじめて認知された感染症で、局地的あるいは国際的に公衆衛生をおびやかす問題となっている感染症。

再興感染症とは、既に認知されていた感染症ではあるものの、過去に公衆衛生上の問題となるほどの流行はしなかったものや、一旦は下火になり近年再び猛威を振るい始めた感染症。

人工透析

慢性腎不全等で腎機能が回復できなくなった時に、医療機器で人工的に腎臓の機能を施す療法。

心肺蘇生

病気やけがなどで突然、呼吸停止、心肺停止の状態に陥ったとき救命させるため行われる応急手当。

診療放射線技師

医師・歯科医師の指示の下に、エックス線撮影や放射線照射することを業とする者（国家資格）。

精神保健福祉士

精神障がい者の保健及び福祉に関する専門的知識及び技術をもって、精神障がいの医療を受け、又は社会復帰促進施設を利用している精神障がい者の相談に応じ、援助を行うことを業とする者（国家資格）。

セカンドオピニオン

診断や治療方法について、担当医以外の医師の意見を聞くこと。

総合周産期母子医療センター

母体・胎児集中治療管理室（M F I C U）と新生児集中治療管理室（N I C U）を備え、母体及び新生児の救急患者を24時間体制で受け入れ、リスクの高い妊娠に対する医療及び高度な新生児医療を行うことができる医療施設

咀嚼

摂取した食物を歯で咬み、粉砕すること。

【た行】

退院前カンファレンス

退院にあたって患者・家族・医療スタッフなどが集まって行う話し合い。

代診医

病院・診療所の医師が不在となる場合（出張・研修・病気等）において、地域住民の医療の確保のため、病院・診療所の医師に代わって診療業務を行う医師。

地域医療介護総合確保基金

都道府県が計画した、医療及び介護の総合的な確保に関する目標を達成するために必要な事業（病床の機能の分化及び連携、在宅医療・介護の推進等）に要する経費を支弁するため、消費税増収分を財源として都道府県が設置している基金のこと。

地域医療構想

高度急性期から、急性期、回復期、慢性期、在宅医療・介護に至るまで一連のサービスが切れ目なく、また過不足なく提供される体制を確保するための取組などをまとめた構想（鳥取県は平成28年12月に策定）。病床機能ごとの2025年の医療需要及び病床の必要量（推計値）も記載。

地域医療構想調整会議

都道府県が構想区域ごとに設ける、診療に関する学識経験者の団体その他の医療関係者、医療保険者その他の関係者との「協議の場」の名称。地域医療構想の推進の方策等について協議する。本県の場合、各構想区域に設置されている「地域保健医療協議会」を調整会議に充てている。

地域医療支援病院

紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を通じてかかりつけ医等を支援する能力を備える病院。

地域がん診療連携拠点病院

地域におけるがん診療の拠点となり、質の高いがん医療を提供するとともに、地域の医療機関との密接な連携を図り、地域の医師等に対して研修の機会の提供を行う病院。

地域がん登録

地域におけるがんの罹患状況やがんと生活習慣との関連を把握するために行う登録で、医療機関からの届出により行う。

地域災害拠点病院

災害時に多発する重篤救急患者の救急医療を行うための高度の診療機能があり、被災地から重症患者を受け入れや自己完結型の医療救護班を被災地に派遣する機能がある病院。

地域周産期母子医療センター

産科及び小児科（新生児診療を担当するもの）等を備え、周産期に係る比較的高度な医療行為を行うことができる医療施設。

地域包括ケアシステム

地域の実情に応じて、高齢者等が可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制をいいます。

地域包括ケア病棟（病床）

急性期治療を経過した患者及び在宅において療養している患者等の受入れ並びに患者の在宅復帰支援等を行う機能を有し、地域包括ケアシステムを支える役割を担う病棟（病床）。

地域包括支援センター

包括的支援事業を一体的に実施し、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする拠点施設。

地域連携クリティカルパス

地域内で各医療機関が共有する、各患者に対する治療開始から終了までの全体的な治療計画。

地域枠入学者

ここでは、鳥取大学の医学や看護を履修する課程に地域枠推薦入学（鳥取大学の県内における地域医療に貢献したいという強い意志を持つ県内高校卒業者を対象とする推薦入学）による選抜に合格して、入学し、かつ、同課程に在学している者。

データヘルス

医療保険者が加入者の健康データを活用し、データ分析に基づき、個人の状況に応じた保健指導や効果的な予防・健康づくりを行うもの。

てんかん

突然意識を失って反応がなくなるなどの「てんかん発作」をくりかえし起こす病気。「てんかん発作」は、脳の一部の神経細胞が突然一時的に異常な電気活動を起こすことにより生じる。

糖尿病医療連携登録医制度

鳥取県糖尿病対策推進会議が指定する糖尿病治療に関する研修会を医師が受講することによって、県民が安心してかかりつけ医療機関で糖尿病の初期治療が受けられる体制の構築を図ることを目的に、平成24年度から開始した制度。なお、登録医でなければ糖尿病に関する知識が乏しいというわけではない。

糖尿病性腎症

腎臓の主要構成組織である糸球体の血管障害に起因する障害で、進行すると腎機能が失われ、人工透析の必要が生じる。

糖尿病療養指導士

糖尿病患者に対して運動や食事などの療養指導を行う者。

特定健康診査

糖尿病その他の政令で定める生活習慣病に関する健康診査をいう。

特定保健指導

特定健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者として厚生労働省令で定めるものに対し、保健指導に関する専門的知識及び技術を有する者として厚生労働省令で定めるものが行う保健指導をいう。

特別養護老人ホーム

老人福祉法に基づき、身体上または精神上著しい障害があるために常時介護を必要とする高齢者を入所させて、養護する施設。

とっとり医療情報ネット

休日、夜間に診療可能な医療機関や県内の病院の宿日直情報をホームページ上で検索できるシステム。

また、医療機能情報及び薬局機能情報の公開も行っている。

鳥取県医師養成確保奨学金

鳥取県内における医師の確保を図るため、将来、県内の病院等において医師の業務に従事しようとする学生に対し、修学上必要な資金を貸し付ける制度。県内に一定年数以上医師として勤務するなど、県が定めた条件を満たせば貸付金の返還が免除される。

鳥取県ドクターバンク

正式には鳥取県医師登録派遣システムという。

鳥取県内の医療機関での勤務を希望する医師の自治体病院等への派遣、子育てなどにより現場を離れた医師への現場復帰のための研修の実施及び県庁内に設置している「無料職業紹介所」を通じた、鳥取県内の医療機関からの求人情報の提供及びこれらの医療機関への就業のあっせん、紹介の仕組みがある。

鳥取県難病・相談支援センター

難病患者会等の育成・支援や就労支援などを行うために、鳥取県が鳥取大学医学部附属病院及び国立病院機構鳥取医療センター内に開設。

鳥取県難病医療連絡協議会

鳥取県における重症難病患者の医療・療養環境の改善を行うこと等を目的として、鳥取大学医学部附属病院内に設置。

鳥取県臨床研修指定病院協議会

県内の臨床研修指定病院で臨床研修を行う医師の確保及び臨床研修の充実に必要な事業の実施より医療の維持・向上を目的として、県、鳥取大学、県内で臨床研修を行う病院を構成員として平成19年度に設置。

都道府県がん診療連携拠点病院

県のがん診療の拠点となり、質の高いがん医療を提供するとともに、地域がん診療連携拠点病院との密接な連携を図り、拠点病院の医師等に対して研修の機会の提供を行う病院。

【な行】

難病医療専門員

難病医療の確保に関する関係機関との連絡調整、患者からの相談などを行う者。

認知症高齢者グループホーム

正式には、認知症対応型共同生活介護事業所という。認知症の状態にある要介護高齢者等に対し、共同生活が出来る高齢者介護施設。

認定看護師

一定期間以上の実務研修を修了した保健師、看護師及び助産師の免許所有者が日本看護協会認定の看護師教育機関にて6か月以上の教育を受け、認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することを認められた者で、看護現場において、実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりや質の向上を図ることに貢献する。

ネウボラ

フィンランドで制度化されている、妊娠、出産から就学前までの育児を切れ目なく継続的に支援することを目的とした支援施設。

年齢調整死亡率

年齢構成の違いに影響されない比較をするため年齢構成を調整した死亡率。

ノロウイルス

非細菌性急性胃腸炎を引き起こすウイルスの一種。食中毒の原因になるほか、感染したヒトの糞便や嘔吐物、あるいはそれらが乾燥したものから出る塵埃を介して経口感染する。

【は行】

発達障がい

自閉症、アスペルガー症候群、その他広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障がいであって、その症状が通常低年齢において発現するもの。

病院群輪番制

地域の病院が輪番制方式により休日・夜間の診療体制を整えているもの。

病診連携

患者の治療等に関して、地域の病院と診療所との間で行う医療連携のこと。

病病連携

患者の治療等に関して、病院間で行う医療連携のこと。

フッ化物洗口法

フッ化物水溶液を用いてブクブクうがいを行い、歯のエナメル質表面にフッ化物を作用させて、むし歯を予防する方法のこと。

フレイル

加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態（厚生労働省研究班の報告より抜粋）。

低栄養やロコモからくる身体的フレイル、意欲・判断力の低下などの精神的フレイル、地域などからの孤立の社会的なフレイルがある。

へき地保健指導所

無医地区等の保健医療の機会に恵まれない住民に対し、保健指導を行う施設。

放射線療法

がん治療の一環として、放射線照射により悪性腫瘍を制御する方法。

訪問看護ステーション

かかりつけの医師の指示の下に看護師が訪問し、住み慣れた家でお年寄りや身体の不自由な方などに、療養していただきやすいように看護サービスを提供する事業所のこと。

【ま行】

メールマガジン

電子メールで配信される雑誌的な読み物。簡単に多数の読者に配信できる、即時性に優れて

いるなどの特徴をもつ。

メタボリックシンドローム

内臓脂肪型肥満に高血糖・高血圧・脂質異常症のうち2つ以上を合併した状態をいう。

メディカルコントロール

救急搬送において、救急救命士が医行為を実施する場合、当該医行為を医師が指示又は指導・助言及び検証してそれらの医行為の質を保証すること。Medical Control を略してMCとも呼ばれる。

薬物療法

薬を使う治療のこと。がんの場合は、抗がん剤、ホルモン剤、免疫賦活剤（免疫力を高める薬剤）等を使う療法のこと。抗がん剤による治療法。

【ら行】

理学療法士（PT）

Physical Therapist の略。医師の指示の下に、身体に障害のある人に、寝返り、起きあがり、歩行などの基本的な動作能力及び日常生活動作（ADL）の向上や維持のため、運動療法や温熱、光線、電気などの物理的手法を行うことを業とする者（国家資格）。

理学療法士等修学資金貸付制度

県内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を確保するため、将来県内において理学療法士等としてその業務に従事しようとするものに対し、鳥取県が修学上必要な資金を貸し付ける制度。県内に一定年数以上理学療法士等として勤務すると、貸付金の返還が免除される。

罹患率

特定の期間内に集団に新たに生じた疾病の症例数の割合。ある時点、ある地域内の全患者数をその地域の人口で割った有病率とは区別して用いられる。

臨床検査技師

病院の検査室や衛生検査所において、医師・歯科医師の指示の下に、微生物学的検査、血液学的検査、生態学的検査等の検体検査及び心電図検査等の生理学的検査を行うことを業とする者（国家資格）。

臨床工学技士

医師の指示の下に、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行うことを業とする者（国家資格）。

ロコモティブシンドローム

筋肉や骨、関節、軟骨といった運動器の障害によって、移動機能の低下をきたした状態。（運動器症候群、通称：ロコモ）

ワクチンギャップ

住んでいる国や地域あるいは経済状況などに左右されて、特定の病気に対する予防ワクチンが接種できたりできなかったりすること。欧米諸国ではほとんど無料で受けられる予防接種が、日本では予防接種法の対象から外れ有料の任意接種であることも多く、ワクチン後進国といわれることがある。